

仕様

判定名人®

型式	CO-FL1
検知対象ガス	一酸化炭素 (CO)
検知原理	定電位電解式
検知範囲	0~0.500 vol%
1 デジット	0.001vol% (0.000~0.200vol%) 0.005vol% (0.200~0.500vol%)
指示精度 (同一条件下)	±0.003vol% (0.000~0.030vol%) ±10% (0.030~0.200vol%) ±20% (0.200~0.500vol%)
測定時間	約25秒 (瞬時値測定を除く)
検知方式	ポンプ吸引式
吸引流量	0.3L/min以上
濃度表示	7セグメントLCDデジタル (4桁)

警報表示	湯沸器・風呂釜測定時：青ランプ点灯 (注意) / 橙ランプ点灯 (危険) / 赤ランプ点灯 (禁止) 及びブザー 業務用厨房機器測定時：橙ランプ点灯 (注意) / 赤ランプ点灯 (危険) 及びブザー
使用温湿度範囲	-10~+40°C、90%RH以下 (結露無きこと)
電源	単3形アルカリ乾電池×4本
連続使用時間	100時間以上 (25°C、無警報、無照明時)
外形寸法・質量	約80 (W) ×124 (H) ×36 (D) mm (突起部は除く) 約260g (乾電池除く)
各種機能	測定モード切替、平均値/最大値/瞬時値切替、警報表示切替 (ランプ+ブザー/ランプのみ/警報無)

※「判定名人」は、理研計器株式の登録商標です。(商標登録番号：第5578256号)

付属品

サンプリングフード

ガス導入パイプA (SUS)

ガス導入パイプB (Cu・片側継手付)

ガス導入パイプC (Cu・両側継手付)

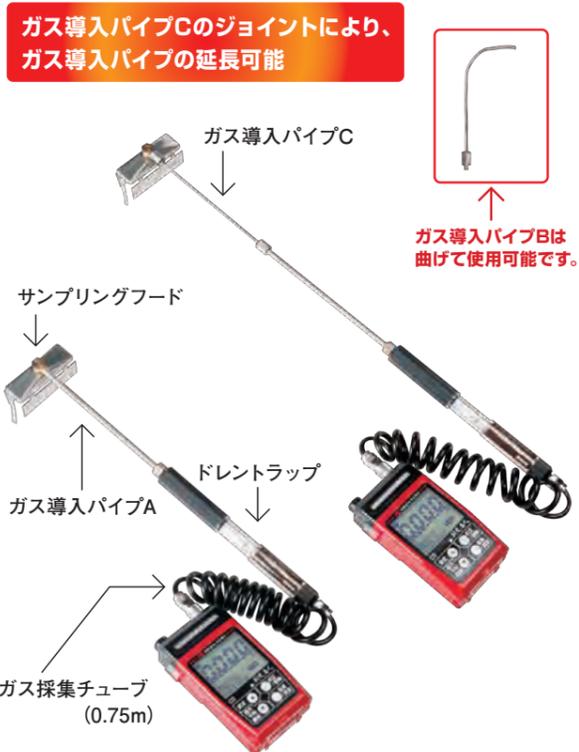
ドレントラップ

ガス採集チューブ (0.75m)

単3形アルカリ乾電池 (4本)

判定早見表

裏面  
キャリングケースの裏面に、判定早見表挿入可能



燃焼器の排ガス測定に…小型・軽量・自動吸引式の一酸化炭素モニター

判定名人®  
MODEL CO-FL1

燃焼器具の  
使用可否を自動判定!  
作業効率大幅UP!!

7種類の測定モード切替

異なる5つの判定基準と任意設定、業務用厨房機器用モード搭載。

3種類の警報動作切替

ブザー+ランプ/ランプのみ/警報無の3種類の警報動作切り替え可能。

大型LCD画面

画面の大型により見やすい濃度表示、判定結果、測定対象機器の種類を表示。

一般・業務用燃焼器具を1台で測定可能

業務用厨房機器にも対応した測定範囲 (0~0.500vol%)。

ガス導入パイプの延長可能

ガス導入パイプの延長により、麵ゆで器、大型オープン等の業務用厨房機器の測定も安全。



測定器の総合商社  
株式会社 佐藤商事  
SATO SHOUJI INC.  
〒211-0063 川崎市中原区小杉町 1-403 武蔵小杉タワープレイス 5 階  
☎: 044-738-0622  
FAX: 044-738-0623  
http://www.ureruzo.com http://satosokuteiki.com

※本カタログの記載事項は、性能向上のため、お断りなしに変更する事があります。

## 検知器が燃焼器具の使用可否を自動判定！ 濃度を都度確認しなくても判定が可能！

燃焼器（開放式ガス瞬間湯沸器、CF式湯沸器、CF式ふろがま）を使用する際、不完全燃焼や換気不足等が原因となり、高濃度の一酸化炭素(CO)を発生する恐れがあります。そのため、これら燃焼器によるCOの中毒事故を未然に防ぐには、定期的に燃焼器の点検（濃度測定を含む）を行なうことが重要です。濃度測定の際の判定基準は、燃焼器の種類によって異なりますが、それぞれの判定基準に応じた結果を判定シールを貼る等して、お客様にお知らせする必要があります。本器はこの判定を簡易に行なうことができる一酸化炭素計です。

## 排気方法・不燃防の有無・製造年によって異なる判定基準

高圧ガス保安協会では、対象燃焼器に応じた下表 ①～⑤ の判定基準を推奨しております。

区分			CO濃度測定値				判定*	
			H20年3月31日までの製造品		H20年4月1日以降の製造品			
半密閉式 ガス湯沸器	CF式	不完全燃焼 防止装置なし	①	0.04%以下	/	/	給気・換気注意	
				0.04%超 0.08%以下			危険	
				0.08%超			使用禁止	
半密閉式 ガスバーナー 付ふろがま	CF式	不完全燃焼 防止装置あり	②	0.04%以下	③	0.04%以下	給気・換気注意	
				0.04%超 0.20%以下			0.04%超 0.10%以下	危険
				0.20%超			0.10%超	使用禁止
開放式ガス瞬間湯沸器	/	/	④	0.015%以下	⑤	0.015%以下	使用注意	
				0.015%超 0.08%以下			0.015%超 0.03%以下	危険
				0.08%超			0.03%超	使用禁止

※本器は上記表の色分けされた判定レベルに応じてその色をランプで表示します。  
※高圧ガス保安協会作成 保安業務ガイドより

## 判定名人での測定例

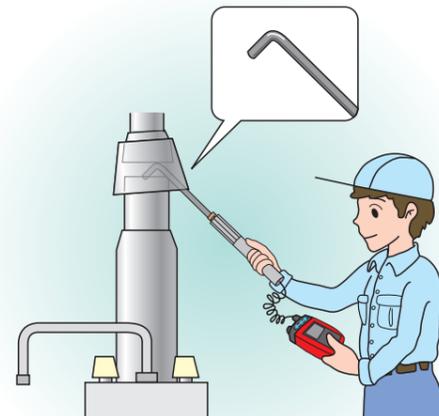
対象燃焼器からの排気ガス中の一酸化炭素濃度を測定し、一酸化炭素濃度に応じて燃焼器の使用可否を判断できます。

### 開放式ガス瞬間湯沸器の場合



排ガスの採取は、専用のサンプラーを用い、前後左右にゆっくり動かしながらいン上(20mm)をまんべんなくサンプリングします。

### CF湯沸器又はCF式ふろがまの場合



排ガスの採取は、逆風止めの下部(逆風止め内排気通路)へパイプ型採取管(ガス導入パイプB)を挿入して、動かしなが採取します。CF式湯沸器の場合、逆風止め内蔵機器については、排気孔中央部へパイプ型採取管を挿入して、動かしなが採取します。

## 各部名称

## 大画面LCD画面搭載により、濃度表示、判定結果、 測定対象機器の種類を見やすく表示！



## 判定結果を文字とランプで表示!

機器の判定状態に応じて、3種類(青、橙、赤)のランプと判定結果(注意・危険・禁止)で表示!  
判定結果の視認性向上!(①～⑤のモードの場合)

